

基本計画策定のための区民ワークショップ 実施結果について（簡易報告）

1 実施目的

基本構想の点検及び新たな基本計画の策定のため、区民参画の一環として区民の意見等を聴取し、それらを計画づくりに反映させる取組として、区民ワークショップを実施する。

2 開催日時

平成 26 年 10 月 4 日（土）午前 10 時～午後 4 時 10 分
 平成 26 年 10 月 5 日（日）午前 9 時～午後 4 時 40 時
 （10 月 5 日は台風の影響を考慮し当初の予定を 30 分間短縮）

3 開催会場

豊島区立上池袋コミュニティセンター多目的ホール

4 対象者

区内に在住する 20 歳以上の区民（外国人も含む）3,000 人
 住民基本台帳から無作為抽出し、開催案内を郵送して募集

5 申込者・参加者

(1) 区 民

申込者数 52 名（申込率 1.73%）
 参加者数 10 月 4 日 39 名、10 月 5 日 36 名（午後 35 名）
 ※保育利用者 1 名（子ども 1 名）

(2) 大学生

立教大学生 10 月 4 日 4 名、10 月 5 日 5 名

合 計

10 月 4 日 43 名、10 月 5 日 41 名（午後 40 名）

区分	申込者の内訳				
	合計	割合	男性	女性	
区民	52	100%	23	29	
（年代別内訳）	20代	5	9.6%	4	1
	30代	7	13.5%	2	5
	40代	9	17.3%	6	3
	50代	10	19.2%	4	6
	60代	13	25.0%	6	7
	70代	8	15.4%	1	7
（地区別内訳）	東部	11	21.2%	7	4
	北部	7	13.5%	3	4
	中央	8	15.4%	4	4
	南部	11	21.2%	5	6
	西部	15	28.8%	4	11
大学生					
合計	52		23	29	



参加者の内訳							
10月4日(土)				10月5日(日)			
合計	割合	男性	女性	合計	割合	男性	女性
39	100%	17	22	36	100%	16	20
3	7.7%	2	1	3	8.3%	2	1
4	10.3%	0	4	3	8.3%	0	3
8	20.5%	6	2	7	19.4%	6	1
8	20.5%	3	5	7	19.4%	2	5
10	25.6%	5	5	10	27.8%	5	5
6	15.4%	1	5	6	16.7%	1	5
8	20.5%	5	3	8	22.2%	5	3
5	12.8%	2	3	3	8.3%	1	2
6	15.4%	3	3	6	16.7%	3	3
8	20.5%	3	5	8	22.2%	3	5
12	30.8%	4	8	11	30.6%	4	7
4		2	2	5		1	4
43		19	24	41		17	24

※10月5日(日)午後は区民1名欠席

6 実施日程

【1日目】10月4日（土）

時間	内容	時間	内容
9:30～10:00	受付	12:00～13:00	(昼食・休憩)
10:00～10:05	開会、高野区長あいさつ	13:00～15:00	討議 8グループ(区民7グループ、大学生1グループ)に分かれて討議
10:05～10:20	開催趣旨・討議の進め方等説明		
10:20～11:00	豊島区の概要について (企画課長)	15:00～15:05	(休憩)
11:00～11:25	講演:「総合計画とワークショップ」 立教大学副総長・法学部教授 原田 久 氏	15:05～15:45	発表(各グループ5分)
		15:45～16:00	投票、情報提供者によるコメント
11:25～12:00	第1テーマ:「ともに暮らす」 情報提供 (福祉総務課長・子育て支援課長)	16:00～16:10	事務連絡、解散

【2日目】10月5日（日）

時間	内容	時間	内容
8:30～9:00	受付	13:40～14:00	第3テーマ:「ともに創る」 情報提供 (区民活動推進課長・文化観光課長)
9:00～9:05	開会、日程説明		
9:05～9:25	第2テーマ:「ともに築く」 情報提供 (資源循環課長・都市計画課長)	14:00～15:30	討議 8グループ(区民7グループ、大学生1グループ)に分かれて討議
9:25～11:25	討議 8グループ(区民7グループ、大学生1グループ)に分かれて討議	15:30～15:35	(休憩)
		15:35～16:15	発表(8グループ×5分)
11:25～11:30	(休憩)	16:15～16:30	投票、情報提供者によるコメント
11:30～12:10	発表(各グループ5分)	16:30～16:35	水島副区长あいさつ
12:10～12:25	投票、情報提供者によるコメント	16:35～16:40	事務連絡、閉会
12:25～13:40	(第2テーマ終了後、昼食・休憩 60分)		

※区民のグループはテーマごとにメンバーを入替え。

7 討議結果・アンケート結果の概要

添付のとおり



(発表の様子)

ともに「暮らす」「築く」「創る」3つのテーマについて各グループで話し合っていました！！

ともに暮らす

ともに築く

ともに創る

グループA

- ・効率的な施設づくり
- ・人材の有効な活用
- ・住み続けたい人の住居環境の整備

- ・学校の跡地に障害者・高齢者・保育用・防災をつくる 他
- ・高齢者のキャリアを活用できる場 他
- ・シェアハウス 他

グループB

- ・行政サービスが利用しづらい
- ・介護・子育て支援の質の低さ
- ・コミュニティ・コミュニケーションの不活発

- ・24時間のコンシェルジュサービス 他
- ・公共サービスの質の向上・担い手の育成
- ・オープンなコミュニティ（町会の透明性向上）・風通しの良さ 他

グループC

- ・コミュニケーション、情報弱者へのおもいやり（子・老人・障害者）
- ・快適な暮らし

- ・区主導で地域リーダーを探す（年代別リーダー）他
- ・老人が子ども（身障者）を助け、子どもが老人を助ける仕組み 他
- ・行政と民間のリンクを図る 他

グループD

- ・福祉、子ども・子育てに関する相談窓口（入口）がわかりにくい
- ・子ども・お年寄りが集える公園が少ない
- ・希薄なコミュニティ マンション・アパートの増加

- ・情報提供媒体の多様化 他
- ・精神衛生の向上に寄与する公園づくり 他
- ・町内会への加入促進 他

グループE

- ・少子化対策
- ・高齢化対策/コミュニティづくり
- ・行政サービスの向上/まちづくり/国際化

- ・保育所申込手続きのクリア化・簡素化 他
- ・孤立を防ぐコミュニティづくり 他
- ・行政サービスワンストップ化・簡素化、英語で対応できる人材環境他、公園充実 他

グループF

- ・医療の充実
- ・待機児童を0にする
- ・高齢者への支援の充実

- ・医学部大学の設置→（その後段階を踏んで）総合病院 他
- ・空き家の利用・空き家のリフォーム 他
- ・定年後の（有償）シニアボランティア活動 他

グループG

- ・少子高齢
- ・子どもが集まる緑地公園が少ない
- ・同世代コミュニティ

- ・同じ地域に老人も子どもも一緒に過ごせる施設（ベビシッター） 他
- ・空き地、屋上、廃校等を活用した市民農園 他
- ・街のインフラを（学校）を有効利用したコミュニティサークルの育成 他

グループH

- ・高齢者の抱える問題
- ・子育てしにくい環境
- ・その他福祉に関する問題

- ・歩くように→高齢者になる前に 他
- ・学童保育の充実 他
- ・親子で楽しめる施設の増加 他

グループA

- ・バリアフリー推進
- ・防災機能向上
- ・ゴミ問題解決

- ・階段のスロープ化 他
- ・狭い道路に対応した消防車 他
- ・エコ企業への行政からの支援 他

グループB

- ・多様性に対応しきれていない池袋
- ・顔の見える特色ある地域づくり
- ・安全安心を支えるコミュニティの不足

- ・東西連絡通路の整備（地下道含め） 他
- ・公園・寺社等のオープンスペースの居心地の向上 他
- ・地域性のある防犯・防災教育の実施 他

グループC

- ・ゴミ問題
- ・防災
- ・区・地域住民・各施策の運動の欠如

- ・24hゴミ出し可能なゴミ箱
- ・駅地下駐輪・シェルター 他
- ・常時住民パトロール 他

グループD

- ・駅★レポリノベーション！
- ・機能する「みどり」
- ・ゆりかごから墓場まで

- ・駅ごとの個性づくり（駅力の向上） 他
- ・学び、くつろぎ、防災としてつかえる「みどり」 他
- ・子どもが生まれた後の住宅支援・地域のつながり 他

グループE

- ・コミュニティのルール&マナーの仕組づくり（外国人も含めた）
- ・住民の意見を取り入れた道路交通整備
- ・防災防犯対策

- ・外国人との交流の場の提供 他
- ・説明会の開催と代替案の検討 他
- ・地域ごとの防災拠点の整備 他

グループF

- ・ごみ・リサイクル（リユース）
- ・まちづくり
- ・防犯・防災（住居）

- ・服再利用 BOX（食器などを含む） 区民広場に設置 他
- ・跡地（学校・区庁舎）の有効活用（防災公園・緑地） 他
- ・学校を防災拠点に 他

グループG

- ・池袋一極集中の解消
- ・防犯・防災の強化
- ・資源ごみの可視化

- ・他の地域に対しても積極的に対策を行ってほしい
- ・住民参加型のパトロール 町会の参加 他
- ・回収率・量の可視化、情報提供 他

グループH

- ・災害時にどうすればよいか分からない
- ・多くの空き家が十分に活かされていない
- ・地域コミュニティの弱さ

- ・官民協力→拠点づくり・広報（アプリ、マップ活用）
- ・まずは実態把握→多目的利用（ルームシェア、防災拠点、交流の場）
- ・町内会活性、ボランティア活性

グループA

- ・としまツーリスト
- ・としまイベントエージェンシー
- ・町会大改造計画

- ・地元の魅力を巡る散歩・回遊コース 他
- ・官民連携のイベント専門組織の発足 他
- ・地域の安心安全創造町会（消防団と一体化） 他

グループB

- ・コミュニティを充実させる
- ・豊島区の観光場所を充実させる
- ・遊歩道（地下道）の充実

- ・異文化交流（子どもから） 他
- ・在住外国人を活用した観光づくり、情報発信 他
- ・まちを回遊する動線（動線）の確保 他

グループC

- ・出没！トシマック天国！
- ・屋外スポーツ施設の不足
- ・区民ひろばの活用

- ・NHK 連ドラのロケ地に！（区民がエキストラとして参加） 他
- ・ジョギングコース、サイクリングコースの新設 他
- ・企画・運営への区民参加 他

グループD

- ・スポーツを通じたまちづくり
- ・生涯学習の推進
- ・まちづくりへの参加きっかけ

- ・区民マラソン大会等→史跡活用・バリアフリー 他
- ・歴史資源の掘り起こし・周知 他
- ・コミュニティリーダーの発掘 他

グループE

- ・推しコンテンツのミスマッチ
- ・国際化の遅れとお・も・て・な・し感のなさ
- ・区民ひろばの不活性

- ・地域観光資源の発掘 他
- ・地下街コンシェルジュ、案内表示 他
- ・行政主導から地域住民主導へ 他

グループF

- ・小粒な観光地を大粒に！！
- ・地域の核になる地域センターづくり
- ・優良企業を誘致する！

- ・観光地をモチーフにした美味しいものをつくる（フクロウ丼） 他
- ・小・中学校の統廃合の跡地利用で複合的な施設をつくる
- ・アニメ・ネット関係の企業を集中的に誘致→アニメ特区

グループG

- ・豊島区の「ウリ」が不明確
- ・国際化対応の未整備（多言語情報少ない）
- ・あと一步！ 情報提供の量+作業+消化時間→具体化困難

- ・区民の「声」収集のためのさらなるワークショップ開催
- ・外国語表記の充実 他
- ・区も区民も当事者意識を持とう！

グループH

- ・地下街わかる化プロジェクト
- ・イベントとしま区プロジェクト
- ・PRがんばるプロジェクト

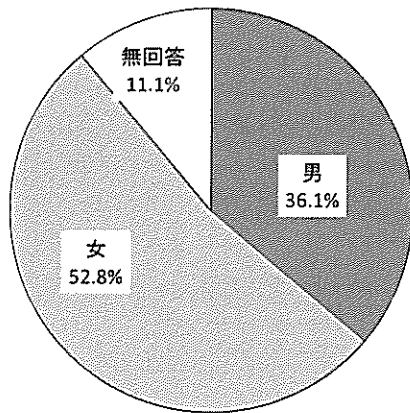
- ・案内所の設置 他
- ・新庁舎屋上活用 他
- ・区マスコットが豊島区をPR（ホームページや動画）

豊島区民ワークショップ アンケート調査結果

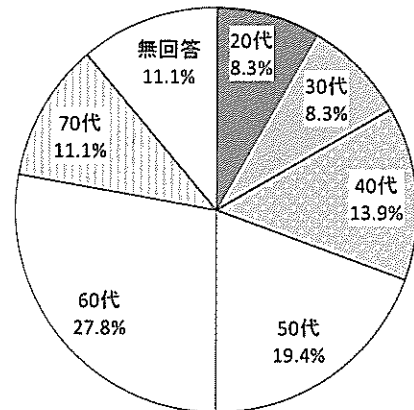
豊島区民ワークショップに参加していただいた方にアンケートをお願いし、36人から回答をいただきました。主な回答結果は以下のとおりです。

(1) 属性

i. 性別



ii. 年代

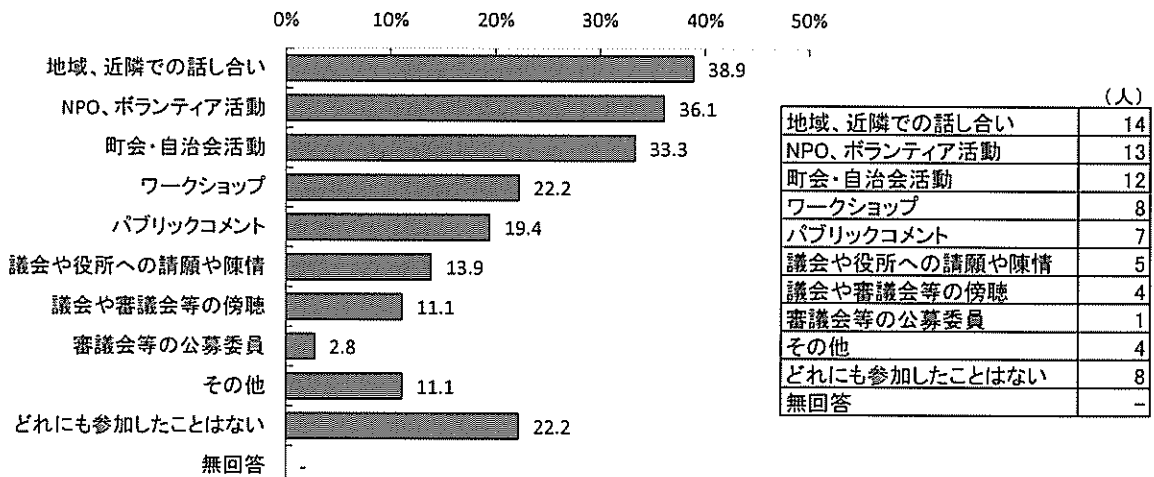


(人)

	全体	20代	30代	40代	50代	60代	70代	無回答
全体	36	3	3	5	7	10	4	4
男性	13	2	0	3	2	5	1	-
女性	19	1	3	2	5	5	3	-
無回答	4	-	-	-	-	-	-	4

(2) これまでに参加したことがある活動

Q1. これまでに次のような活動に参加したことがありますか。(複数回答)



【その他の主な回答】

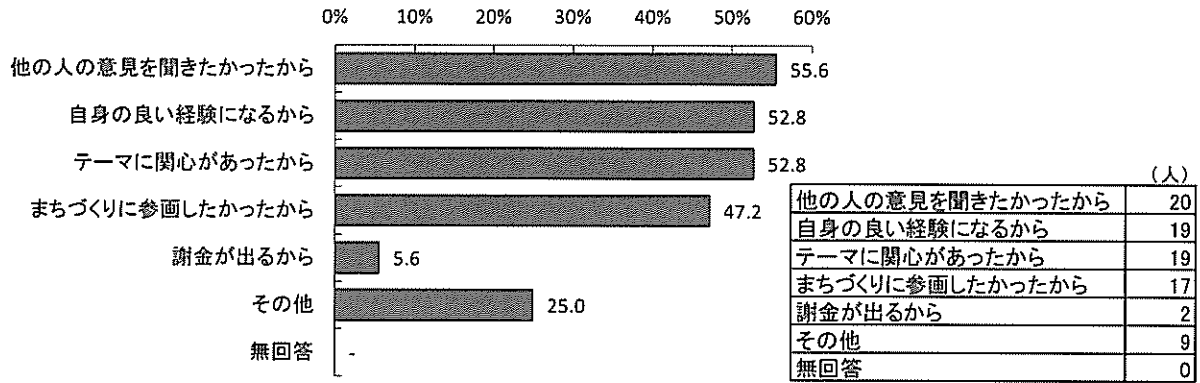
マンション管理組合、消防団、食育ボランティア

(3) 区民ワークショップについて

Q2. 豊島区民ワークショップについてお伺いします。

①参加理由

Q2-1. このワークショップに参加しようと思った理由は何ですか。(複数回答)

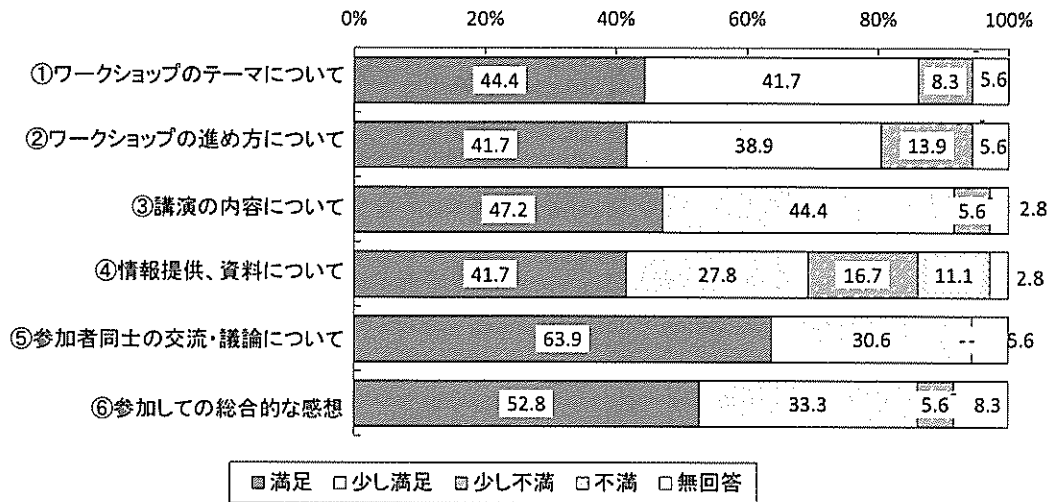


【主なその他の回答】

- ・保育園に入園できず、入園申し込み等、不満があります。
- ・情報収集。
- ・生まれた時から住むまち、ますます住み良いまちに！！
- ・区に対する要望を述べるチャンスとして。
- ・無作為に選ばれて、1度参加してみたかった。
- ・どういうロジ組がされているのか興味があったから。
- ・まちづくりに興味があった。
- ・どのようにまちづくりをしているのか知りたかった。

②ワークショップの感想

Q2-2. ワークショップに参加してみて、どのような感想をお持ちになりましたか。(単数回答)



(人)

	満足	少し満足	少し不満	不満	無回答
①ワークショップのテーマについて	16	15	3	0	2
②ワークショップの進め方について	15	14	5	0	2
③講演の内容について	17	16	2	0	1
④情報提供、資料について	15	10	6	4	1
⑤参加者同士の交流・議論について	23	11	0	0	2
⑥参加しての総合的な感想	19	12	2	0	3

【主な自由回答】

- ・テーマが良かったです（生活に活かすことができるから）。全部順調に進行できた。資料はよかった。いろいろな話ができよかった。
- ・資料、情報提供ともにポイントを絞ったほうがわかりやすい。3つのテーマごとに明確に分けられない、重なる議題も多かったため、もう少しテーマ横断的な話し合いができると良かった。いろいろと考え、知るきっかけとしては非常に満足。
- ・自由に意見が言いやすい雰囲気できていたようです。豊島区の政策に参加させていただくような気持ちになり区政がより身近に感じられるようになり、ますます住み慣れた地域の充実が図られれば良いと感じました。
- ・大変有意義な意見が交換されました。豊島区をより良い住みよいまちにするための協力者が多いという事が実感できました。また、小さな事の積み重ねが必要ですが、総花的ではなく確実に実施されるものであってほしいと思います。
- ・区民の意見を吸い上げるための機会を設けていただいております。郵送で誘っていただいたことで、広報やまち会経由では出てくる気にならなかった人が、出席してみようかという気持ちになったと思います。豊島区の現状について、知らなかったことがたくさんありました。勉強になりました。
- ・ワークショップの進め方は方法の1つとして良いとは感じたが、この方法では不必要なものをなくすという議論はされにくいように感じた。こうした会が区を知ることにつながって良いように思う。
- ・KJ法は、企業研修等では有用だと思うが、年配の方、主婦の方にいきなりやらせるのは難しいと思った。KJ法を採るなら、デモンストレーションをしないと理解が得られないのでは

ないかと思う。

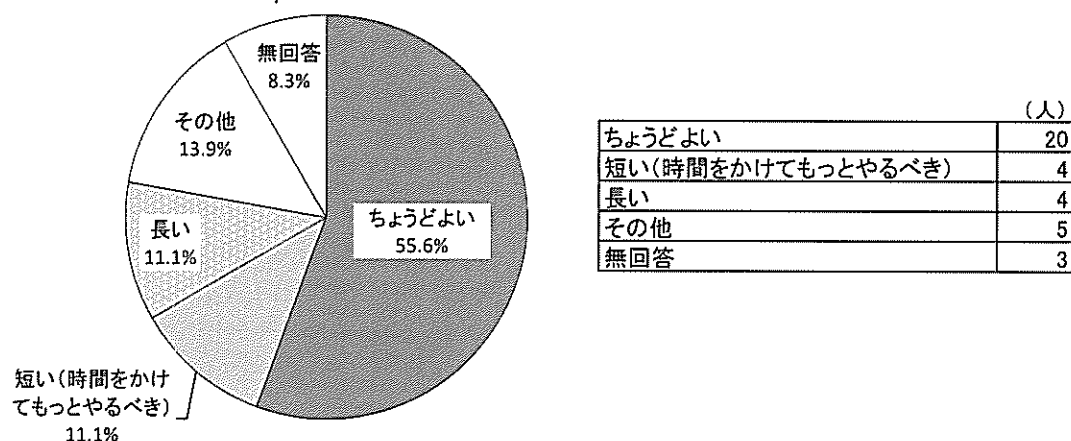
- ・行政できちんと資料・情報を事前に配布していただいたことと、各課の当日レクは、目を通していたのでわかりやすかった。基調講演（立教大学教授）は良かった。資料を読み込んだ上での話し合いではなかった。当日、区課長からの講義のみでは不十分。※参加に事前に強く要望しておくべきだった。参加者側の問題。
- ・いろいろな世代と地域の方々とお話しできたことがとても勉強になりました。資料が配布いただけましたが、当日会場で配布→事後回収方式でも良かったのではないかと思います。
- ・情報提供、資料のカラーコピー、紙の多さに閉口です。参加者の方々と情報交換ができ良かったです。是非、行政に反映されればと思います。
- ・幅広く、区政の現状・将来が分かり、多くの人の意見が聞かれたこと。意外と区民でありながら現状が知られていなく、自分だけではないと思った。
- ・「結果」を求めすぎる。ワークショップ形式に慣れている人ばかりではないので、説明を十分することなしに、討議していくことは容易でないと思う。

(4) ワークショップの日程

Q3. 今回のワークショップの日程について、どのように感じていますか。

① 1つのテーマの討議時間

Q3-1. 1つのテーマの討議時間について（単数回答）

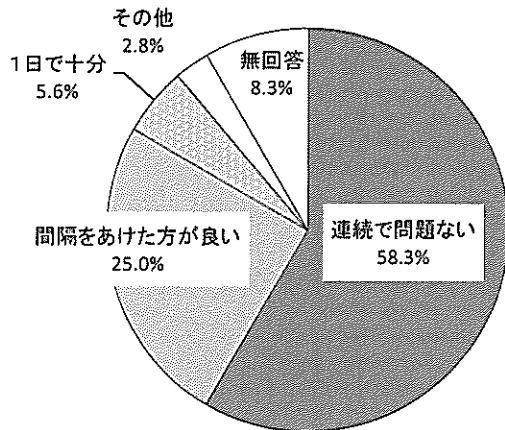


【主なその他の回答】

- ・連日というのはちょっときつい。
- ・長いと思うが仕方ないとも思う。
- ・長いけれど、内容も自分達もやった感があり、ちょうど良い。
- ・もう少し煮詰めたかったので、もう少し長く必要かと思った。

② 2日間の連続開催

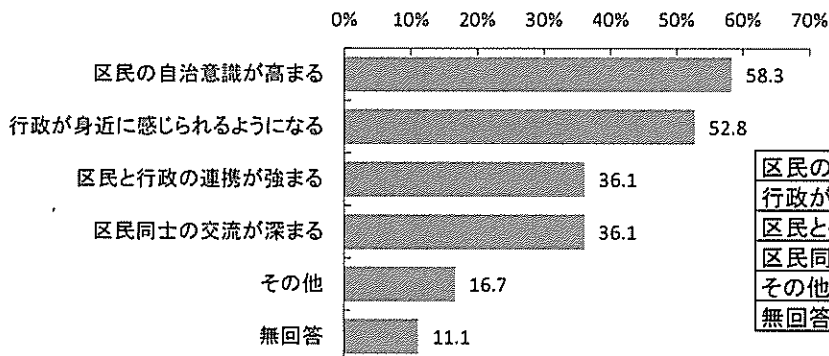
Q3-2. 2日間の連続開催について（単数回答）



	(人)
連続で問題ない	21
間隔をあげた方がよい	9
1日で十分	2
その他	1
無回答	3

(5) ワークショップ開催の効果

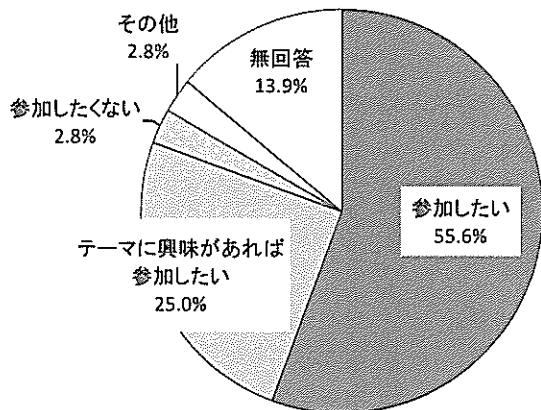
Q4. 区民ワークショップが行われることで、どのような効果があると思いますか。



	(人)
区民の自治意識が高まる	21
行政が身近に感じられるようになる	19
区民と行政の連携が強まる	13
区民同士の交流が深まる	13
その他	6
無回答	4

(6) 今後のワークショップへの参加意向

Q5. 今後、このようなワークショップが企画されたら、参加したいと思いますか。



	(人)
参加したい	20
テーマに興味があれば参加したい	9
参加したくない	1
その他	1
無回答	5

(7) 自由意見

Q6. その他、ワークショップについてご感想やご意見等がありましたら、お聞かせください。

(自由回答)

【主な自由回答】

- ・区をもっと知るようになりました。いろいろな地域の方と年齢の方と話し合えて良かったです。このようなワークショップを開催して区民の方の声を受け入れてほしい。
- ・ワークショップで話し合った内容を今後どうしていくか教えてもらえたら良いなと思う。
- ・とても楽しく有意義な意見交換をしました。これらの出された提案等が実現に向かっていけば最高の成功と思います。これらの意見によって住民の意識が高まり、豊島区にいることを誇りに思えるまちにしたいと願います。原田先生の講演がとても良かったです。リラックスして、そしてよりよい考えが出るような気合を受けました。
- ・言いたい放題、言いつばなしの意見で、現実問題として「どうすれば実現するの?」「予算は?」「規制は?」と、難しいことはたくさんあると思います。言い訳になると思わず、無理だという説明もされる時間があっても良いのではないですか。
- ・地域別にこのようなワークショップを企画してはどうか。その中で“まちづくり”が前進するのではないだろうか! 方法論としてはKJ法だけでなく、他の手法も導入してみてもどうだろうか。
- ・ディベートもあった方がよい。
- ・20代から70代と世代の違う方のいろいろな意見が聞けました。とても良いワークショップでした。情報があるが受ける側の区への意識が低いと思いました。このようなワークショップが多く開かれ、区民参加が進むといいです。
- ・投票の数が3個では足りない。(自分達のグループで長い時間話し合ったので、3個位は自分のグループで使いたい。他のグループの良い所も選びたい。)
- ・対象者が区全体から集めているため、各論特に地域毎の課題問題点をクリアすることが出来ない。今回のようなワークショップも必要と思われるが、出来ればそれぞれの地域で開催してほしい。(町会等を中心としたまちづくり協議会的なものでなく、今回のようなワークショップが良いと思います。)
- ・議論のテーマが抽象的すぎたように感じる。もう少し方向性を明確にしても良かったのでは?
- ・モデレーターがもっと関与した方がよいと思う。
- ・区の事業内容の勉強になった。参加者が熱心であったと思います。今後ともこのようなことを実施して欲しい。また、木密は行政が協力に実施して欲しい。一定の面積の持ち主に権利の乱用をさせない取組が欲しい
- ・朝の時間が早く始まる場合は、午後は早めに切り上げて頂くことを希望します。(仕事をもっている人にはやや厳しいと感じます)。ワークショップ、区民参加型の数(場)を増やしてください。
- ・他の人の意見を聞くということは大事だなと思いました。自分の頭の中で凝り固まってはならないし、自分の主張もできる場であって良いと思いました。
- ・知らない情報を得る機会にもなり参加して良かったです。区民が願うまちになるように区役所一丸となって取り組み、共に発展させていきましょう